

平成21年11月10日(火)13:00~14:20  
松寿会クラブ室

参加者 6名  
小林・中井・福田・堀田・間木・村田

## どうだったんだろう

5月以来の、久しぶりの撮影会だったというのに披露の作がないのはどうしたことだろう……。

写真のネタになるモノがなかったのだろうか。場所の選定がまずかったんだろうか？

過去にこのようなことがなかっただけに、ことのほか寂しく思う。

それなりにいくつか理由があるだろうし、今後のために素直に反省したいと思う。

## 披露いただいた写真について

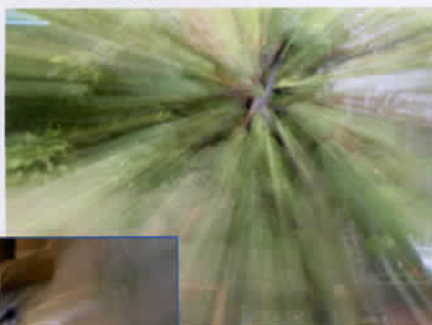


中井さんから披露された彼岸花

一見、手ぶれのように見られるが、中井さんの説明によると、2重露出のよなモノだとのこと。

COLOR IMAGINGの一つと位置づけても良いかなと思われるが、始めて目にするので頭の整理ができない状況です。

右の2枚は、昔からあつ



たズームを使ったテクで、これなら決して珍しいモノではないが、2重露出のテクだといわれると構えなくなってくる。折りを見て試してみたいと思う。



村田さんの一枚。



紅葉の山写真にボカシは珍しい？と思いました。

夏山には、山並みの重ねにボカシがよく使われ、常道になっている感じがあります。

一方、秋の山紅葉や雪山にはボカシが少なく、思い切り絞り込むのが常道だと思っていましたが、墨絵や水彩画の感覚を求めるならボカシも有りかなと思う一枚でした。

昔を思い出しましたが、もし可能なら、銀塩で露出を抑え、覆い焼きなどで調整しながら焼いたら一寸変わった味が出るかも知れないナと思ったりしました。そんなことは

現代では不可能ですが。

そこで、ふと、昨年の青木さんの山紅葉の写真を思い出しましたが、秋の山には進化し続けるデジカメの色々な機能を活かして挑戦してみるのも面白いカナと思いました。



### 福田さんの珍しい一枚。

見事な大木と子供!! 私的には好きな構図ですが、残念なのはフラッシュの発光。ご本人の言によりますと、夕刻で撮影には不適な明るさだったようです。フラッシュはオートに設定してあったようで、人の意志に関係なく勝手に発光したようでした。

立派な古木と言えるかも知れないすごい木肌が、不作法なフラッシュのお陰で平面的に見えて残念です。



デジカメの機能をフルに使えばいい絵になったのではないかと思います。

多分通常のシーンモードには使えるモノがないと思いますので、ISO・露出補正・WBを色々組み合わせて挑戦してみてもいいかなと思うワンシーンでした。

「老木と子供」!! 映画の題名みたいですが、スナップではこのようなギャップがいいと……。よく目にします。

左は小林が春日井祭りでキャッチした「小野道風とちよい悪ギャル」で、時代のギャップに惹かれてシャッターボタンを押したモノです。

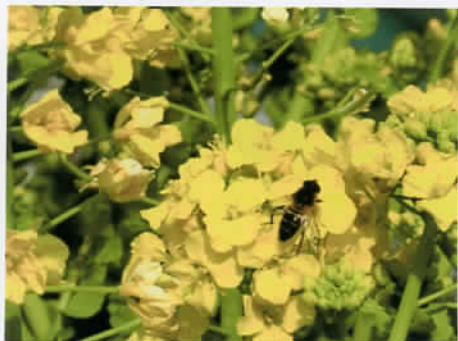


### 間木さんのトレンド?。

#### ハナとハチ。

去年の春には右のような一枚がありました。

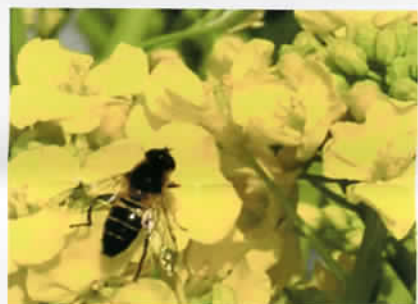
どのような写真でも、例え小さくても生きているものが入っていると、温かみを覚えて何故かホッとします。私だけかも知れませんが…。



今回のコスモスも去年の菜の花も、トリミングで主張するモノを変えられる経済的ないい絵だと思いました。

この程度の大きさにトリミングすると「ハチ」が主題となって、ハナがハチを飾るパイプレーヤになります。

昔々、宝塚の演出の内海先生に教わったことに、主役を引き立てるには



バック(その他大勢)に神経を使えということ思い出しました。(舞台と照明の勉強中)

### プリンターの機能を活かそう……

A4にプリントして我ながら勝手に感動した一枚ですが、一見、デジカメとは思えない肌のきめの細かさや滑らかさにウンと息を詰める新しい発見でした。

中井さんにも確認して貰いましたが、フィルムを超える仕上がりになったかなと……。

光(色)を吸収する黒のコスチュームも微妙なトーンを出してくれましたが、直射日光を受けた横顔と光の影になる顔の面のトーンの差を自然な感じに仕上げてください、今までのデジカメの概念を変えてくれました。

大げさですが、エプソンに感謝脱帽の出来事でした。

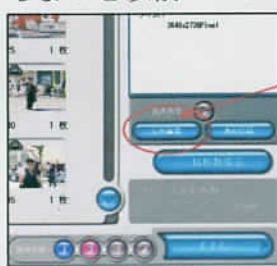


カメラのことはさておき、プリンターのお陰ということで紹介させて戴きます。

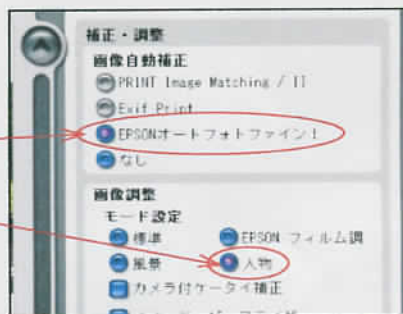
今まで当然のように使ってきたプリンターの機能ですが、人の顔も小さくプリントも小さいモノでしたので気付かなかったということです。今回、たまたま顔の大写しをA4にプリントしたことで機能の良さを確認したということです。

エプソンのプリンターでも年代・機種によって異なりますが、プリントソフトには余り変化がないと思いますので、概要を紹介させて戴きます。

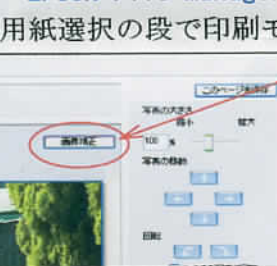
ちょっと以前の「EPSON PhotoQuicker35」を使う場合。



設定過程で「写真編集」を選ぶ。表示された画面で「EPSONオートフォトファイン!」をクリックし、下のモード設定で「人物」を設定する。このあと通常通りに進めてプリントする。



「EPSON File Manager」を使う場合



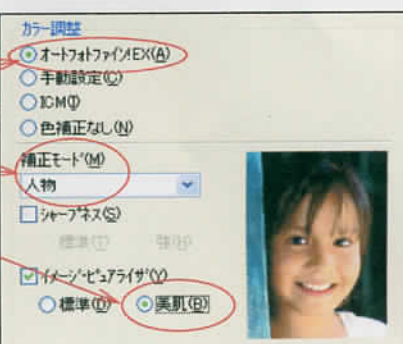
用紙選択の段で印刷モードで「標準」から「きれい」に切换え、次のレイアウト調整の段で「画像補正」のボタンをクリックする。表示された画面の「自動補正」で「オートファイン!EX」にチェックを付け、「補正モード」で「人物」を選ぶ。「補正量調整」は中間にとどめ、仕上げ程度を見て調整するようにする。



「PhotoCrew2」を使う場合



「ファイル」→「印刷」→「プロパティ」→「ユーザー設定」→「設定」。そこで「オートファインEX」にチェックを付け、「補正モード」を「人物」にし、「イメージ・ピュアライザー」にチェックを付け「美肌」を選ぶ。



通常は殆どこのように設定をされることはないと思いますが、この際、一度試してみたいはかがでしょうか。

お正月は女性を撮る機会も多いでしょうから……

(記 小林)

## 次回、第131回の例会は

年が明けて2月ということに決まりましたが、この長い期間、お正月を挟んで色々撮影のネタがあるかと思えます。気軽に撮ったスナップでも結構ですので、楽しい作をご紹介します。

紅葉の現在情報ですが。

定光寺	11月中旬～12月中旬	岩谷堂公園	11月中旬～12月中旬
県民の森	11月中旬～11月下旬	小原(四季櫻と紅葉)	11月中旬～11月下旬
八事興正寺	11月下旬～12月中旬	犬山寂光院	11月中旬～12月上旬

名駅のイルミネーションが試験点灯されたということですが……



建物を含んでイルミネーションを撮るには、原則的に日没直後がベターと認識しています。真っ暗になって暗い部分が入るとノイズが入ることが多くなります。通常これの後処理は不可能といわれていますので、できるだけ構図に注意してください。

左の写真は、名駅ではなく広小路のモノで、結構頑張っていることをお伝えしておきます。

榮周辺は芸文センターの上から見た夕刻の町並みが絶景だと思います。

とき 平成22年2月9日(火) 13:00 ~  
ところ 松寿会クラブ室

連絡は村田へ  
0568-81-8283